

A-5 日本人の調味料使用の実態

東京大学医学部

○菅原明子

豊川裕之

目的 食物摂取と調味料の関係は深い。日本人の味の好みは主に調味料により決定する部分が多いからである。厚生省から毎年発表される栄養実態調査の結果からは、この調味料の分析はなされていない。調味料の種類と摂取量から、食生活の質の問題を解明することを試みた。

対象と方法 昭和41年から43年の厚生省国民栄養調査原票を元に、全国4000世帯を対象とした。食品数を、888食品でコンピューターに記録させ、摂取される、調味料及び食品の集計を行った。